

荻窪病院だより

医療法人財団 荻窪病院 広報誌

2018年11月22日発行

発行責任者:村井 信二

企画/編集/印刷 地域連携室

〒167-0035

東京都杉並区今川 3-1-24

代表 TEL:03-3399-1101

地域連携室直通:03-3399-0257

重症アトピー性皮膚炎の治療に「生物学的製剤注射」という新たな治療が効果を上げています

多くの方が悩まれている難治性のアトピー性皮膚炎。今年の春、新しい治療法が生まれました。「生物学的製剤」を注射するというこの治療、当院でも効果を上げています。この最新の治療について、皮膚科部長の布袋祐子医師に話を聞きました。

皮膚内部の炎症を抑える新しい治療法

アトピー性皮膚炎は皮膚バリア機能の低下やアレルギー性のかゆみ、炎症を起こし、難治性の場合、再燃を繰り返し患者さんの社会生活にも大きな影響を与える疾患で



布袋 祐子 皮膚科部長/診療部長
ふてい ゆうこ

専門は尋常性天疱瘡などの自己免疫性水疱症、アトピー性皮膚科一般。「今後、さらなる治療の選択肢が出てくることを望んでいます。」

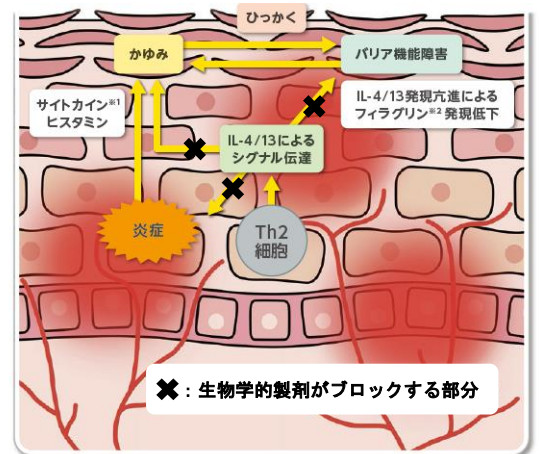
す。保湿やステロイド外用薬、抗アレルギー薬や免疫抑制剤の服用など様々な療法がありますが、患者さんの満足度は低いのが現状でした。

しかし研究が進み、アトピー性皮膚炎発生に大きく関わっている細胞がわかり(下図)、その細胞の働きを抑制することで症状を改善させる治療が始まりました。それが「生物学的製剤注射」(一般名デュピルマブ)です。

H30年11月現在、当院では33名の患者さんがこの治療を受けられ、個人差はありますが、ほとんどの方に皮膚のかゆみや炎症の改善がみられています。

1回目の注射で効果を感ずる方も

この治療は、これまでステロイド剤や免疫抑制剤を使っても治療効果が出なかった難治性の15歳以上の患者さんが対象です。注射は1回目に2本、その後は2週間に



研究により、皮膚内のTh2細胞という免疫細胞から産生されるIL-4、IL-13という物質が皮膚の炎症やかゆみを誘発していることがわかっています。生物学的製剤はこのIL-4、IL-13の働きを直接ブロックします。

1本の間隔で行います。

この治療の大きな特徴は効果が早く出ることです。1回の注射で当日や翌日には症状改善を実感される方が多くおられ、かき壊しや紅斑がなくなり、患者さんに大変喜ばれています。一方で中には数ヶ月後によくなる方もおり、効果の現れ方は個人差があるといえるでしょう。

医師の説明をよく聞いてから治療開始を

重篤な副作用は比較的少ない薬剤ですが、注射部位反応、頭痛、目のかゆみや気管支喘息などのアレルギー症状の憎悪なども報告されていますので、その点をよく

←裏へ

荻窪病院は
地域医療に
貢献します

理念

患者さんへ安心で信頼される医療を提供します。
職員へやり甲斐のある仕事と豊かな生活の場を提供します。

基本方針

1. 急性期医療に全力で取り組み、地域社会に貢献します。
2. 個人の権利を尊重し、相互信頼に基づいた患者さん中心の医療を提供します。
3. 豊かな人間性と優れた技能を有する医療人の育成に努め、活力のある病院づくりをします。
4. 経営の健全化に努め、質の高い医療を地域に提供し続けます。

く説明の上、治療を受けていただいています。

また、この製剤は薬剤の値段が高く(薬価1本8万円)、1回目は保険3割負担の方で薬剤費が5万円程度かかりますので、保険組合や自治体の医療費補助制度を調べて利用されることをおすすめしています。

この治療は始まったばかりで、様々なデータ収集が待たれるところですが、アトピー性皮膚炎の発生経路の元を絶つ、大変画期的な治療です。

何よりも、患者さんご自身が楽になり、効果を感じられているところが大変意味があると私は考えます。

長年の症状にお悩みの方は、かかりつけの先生にご相談の上、ご受診ください。



Ogikubo Hospital Topics ～当院の防災活動報告～

平成30年度自衛消防審査会に参加
訓練成果を発揮して
敢闘賞を受賞

9月14日(金)に荻窪消防署管内の事業所を対象とした「平成30年度自衛消防審査会」が開催され、当院からは、中央検査科とリハビリテーション科のスタッフ2名が出場しました。就業時間後という限られた練習時間にもかかわらず、ぴつたりと息の合った初期消火活動ができ、「敢闘賞」を受賞することができました。

また、11月15日(木)には荻窪消防署主催 秋の火災予防運動「防火のつどい」にて、当院村井信二病院長が火災予防業務協力功労者として、荻窪消防署長より感謝状を授与されました。

東京都災害拠点病院である当院では、大規模災害訓練を年に2回、また地域の災害訓練にも積極的に参加しています。非常時に限らず各職員が常にしっかりと役割を果たし、患



感謝状を授与される
村井信二病院長(右)

平成30年 秋の火災予防運動
「防火のつどい」にて
消防署長感謝状を授与される

者さんをはじめ皆さまが安心して過ごしていただけるように日々努力を続けてまいります。



受賞後笑顔で記念撮影

ステイブ・サクスの
冬のコンサートを
行ないます



前回の冬の
コンサートの様子



2月2日(土) 16時から当院の7階レストランでジャズ奏者のステイブ・サクスさんによる冬のコンサートを行います(無料)。ステイブさんの素敵な生演奏でリラックスした一時を過ごしませんか?当日は直接会場にお越しください。

おぎくぼ病院まつり開催
ご来場ありがとうございます

毎年恒例となりました「おぎくぼ病院まつり」を11月4日(日)に開催し、多数のお客様にご来場いただきました。ヨーヨー釣りや輪投げ等の縁日に院内見学ツアーなど、お子様から大人の方まで楽しんでいただけたのではないのでしょうか。これからも親しみある病院を目指してまいります。



にぎわう院内の様子

第40回みんなの健康講座
「排尿トラブルについて」

今回は、排尿トラブルの予防・治療について、泌尿器科医長の野中昭一医師が詳しく解説いたします。ぜひ、ご参加ください(無料)。

●日にち 2月9日(土)

●時間 10時～11時

(開場 9時45分)

●会場 西荻地域区民センター

(勤労福祉会館)

●お申込み 1月15日(火)より受付開始

先着80名(要予約)

地域連携室03-3369-0257

